

# 平成30年度の主な事業

## 1 保健・医療・福祉

○子ども・妊産婦医療費助成事業

### 拡充

1億7,435万円

中学校卒業までの子どもと妊産婦の医療費について、引き続き助成を行いました。平成30年度から、医療費（保険適用分）全額助成の対象を、5歳の誕生日までから就学前までに拡大しました。

## 2 教育・文化

○統合小学校大規模改造工事

### 平成29年度繰越事業

2億1,722万円

大巻地区の統合小学校「おおまき小学校」を、旧大巻中学校を活用して整備しました。



おおまき小学校

## 3 環境共生

○地盤沈下対策事業

### 継続

2,343万円

地下水位などを観測しつつ、地盤沈下や漏水対策に有効な施策の研究を行いました。また、高性能降雪検知器の設置に対し、費用の一部を助成しました。

○広域ごみ処理施設建設事業

### 継続

317万円

広域での次期ごみ処理施設建設をめざし、循環型社会形成推進地域計画の策定に着手しました。また、建設候補地近隣集落に対する説明を行いながら、住民参加型の先進地視察を行いました。

## 4 都市基盤

○街路新設改良事業

### 平成29年度繰越事業 + 継続

8億9,432万円

平成27年度から引き続き、樋渡東西線の線路アンダーパス工事を進めました。また、平成30年度から、樋渡東西線のアプローチ部（本体）工事に着手しました。

○住宅リフォーム事業

### 継続

4,177万円

市民の生活環境の向上と、住宅関連産業を中心とした地域経済の活性化を目的に、市内業者による住宅リフォーム工事を対象に補助を継続し

ました。

## 5 産業振興

○商工業振興補助事業

### 継続

2,415万円

商工会への補助や創業支援補助、商品開発・販路開拓支援を行いました。地域産業支援プログラム（IC LOVE）も継続して推進しました。また、雪の市民会議開催に対して支援を行いました。

## 6 行財政改革・市民参画

○雪資源活用事業

### 新規

1,979万円

東京オリンピック・パラリンピックに向けて、冷熱源としての雪の効用や雪国の魅力をPRするため、雪を保存し首都圏中心のイベントで雪のクーラーなどを実施しました。



首都圏でのイベントに雪のクーラーを設置

## 歳出

## 前年度からの主な増減理由

## 歳入

- 産地パワーアップ事業県補助金の終了による減  
(県支出金 △5億1,195万円)
- ふるさと応援寄付金（ふるさと納税）の増  
(寄付金 +2億6,387万円)
- ふるさと納税に關係する基金からの繰入金の増  
(繰入金 +5億8,800万円)
- し尿等受入施設建設負担金（魚沼市・湯沢町）の減  
(諸収入 △3億908万円)
- 土地開発公社残余財産受入金（平成29年のみ）の減  
(諸収入 △1億4,418万円)

- 牧之保育園園舎建設完了による減  
(民生費 △4億1,920万円)
- し尿等受入施設建設完了による減  
(衛生費 △6億1,513万円)
- 産地パワーアップ事業補助金の終了による減  
(農林水産業費 △5億1,195万円)
- ふるさと応援基金創設による積立金の増  
(総務費 +6億9,576万円)
- 街路新設改良費（樋渡東西線）の増  
(土木費 +2億3,139万円)